

09

全米賞
受賞
プログラム

今年の暑さは大変なものでした

私（ゴルフ・カフェ マスター）お客さんに誘われ高原ゴルフに出かけました

「スタート前 練習に誘われる、あいにく打席はいっぱい、ベンチから練習する人を見ている。

マスター 「顔なじみのBさんのスイング「お店で話すスイング論そのまま！」

目の前の人 「ドライブは終り、仕上げはアプローチ」

その友人 「ドライブいいじゃない」「今日は馬券買いかな！」

前の人 「いい感じだね 私もこれなら満足してるよ」「しかし問題なんだ！」

その友人 「今日の君に問題はないんじゃない」

前の人 「このショットが本番で出れば……だよ」「本番のコースでだよ」

「スタート前の練習ではいつもこうなんだ、いい感じなんだが」

「本番で出ないんだ」

「特に一番スタートホール、心臓がアップアップしちゃって」

「練習場のこの感じ どっかへ行っちゃうんだよ」「飛んでけ飛んでけって」

「ボールじゃないよ、私の心だよ！！」

その友人 「それはお互いさまさ！」

「練習場のスイングが本番で出来れば いつも馬券もらっているよ！」

「ゴルフは苦の連続さ」

練習終わって、スタートホールへ向かう、顔なじみのBさんのティーショット

マスター 「??？」

マスターの「練習場のスイングとまったく違う」「練習場のスイングと本番とは

心の声 ちがうんだ〜」

「Bさんのいつものスイング理論は……何なんだ〜」

マスター 「お客さん」「これって常識？」 苦も又楽しからずや、か。カカカッ！！

“練習は本番のため コース上と練習場のスイングは同じ”

sun mon tue wed thu fri sat

9 SEPTEMBER

						1 百合
2 **	3 **	4 **	5 百合	6 **	7 **	8 百合
9 **	10 **	11 らうんど	12 百合	13 **	14 **	15 百合
16 **	17 **	18 **	19 百合	20 **	21 らうんど	22 休講
23 ** 30	24 **	25 **	26 百合	27 らうんど	28 **	29 百合

Memo

八ヶ岳高原

ゴルフキャンプ

富士ヶ嶺高原

わいわいゴルフ

共に過ごしたかけがえのない夏のひと時、ご参加くださいますありがとうございますございました。

暑い！暑い！連続猛暑日を更新し続ける……が、さすがに八ヶ岳山麓も、富士山麓も暑さの手は届かない快適な高原ゴルフでした。

久々にお会いする方/快適なゴルフをなさっているかな……

久しぶりのラウンド拝見/進歩のほどは

スクールでお会いする方/練習場と本番は……同じ？

「苦」もあり、「快」もたくさんありました。課題が鮮明になった方、問題を誤解されていた方、より「快」の方向に探求を深めていく方……

それぞれ、方向性を鮮明にできたキャンプ成果であったと感じました。

“苦もまた楽しからずや”……は「GAJ」の流儀ではありません。

「快」こそ私たちが求め続けることに値するものではありません

退いたり、すくんだり、閉じこもったり……「苦」のゴルフは罰と手を取り、しいてはゴルフから退くことを求めます。

問題が生じ「ない」ようにするためにできることは何か……という賢明な予測のもとに、ゴルフにたいして開き、接近し、快の機会を増やしていく

「先見の明」を持ち「快」のゴルフを選択したプレイヤーであることを望みます。

sun mon tue wed thu fri sat

10 OCTOBER らうんど

	1 **	2 **	3 百合	4 **	5 **	6 百合
7 **	8 **	9 **	10 百合	11 **	12 らうんど	13 百合
14 **	15 **	16 **	17 百合	18 **	19 **	20 百合
21 **	22 **	23 **	24 百合	25 らうんど	26 **	27 休講
28 **	29 **	30 **	31 百合			

Memo